

あにわにわ 通信

第18号

「あにわにわ」とは、ニュージーランドの
マオリ語で「虹」を意味しています。

2012.8.20

特定非営利活動法人あい・ぽーと・ステーション発行

代表理事：大日向 雅美・新澤 誠治

子育てひろば「あい・ぽーと」

住所：107-0062 東京都港区南青山 2-25-1

電話：03-5786-3250 FAX：03-5786-3256

E-mail：info@ai-port.jp

URL：<http://www.ai-port.jp>

全国版子育て・家族支援者養成講座事務局

住所：106-0031 東京都港区西麻布 2-24-25-509

電話：03-6657-8539 FAX：03-3499-8539

E-mail：station@ai-port.jp

URL：<http://www.ai-port.jp>

法人代表理事・恵泉女学園大学大学院教授

大日向 雅美

今年も猛暑の夏となりましたが、皆様いかがお過ごしですか。今号は浦安市・千代田区・高浜市の首長から、支援者の皆様にメッセージをいただきました。なお港区は、長年お世話になった杉本隆・子ども家庭支援部長が「異動となり、北本治部長からご挨拶文をいただきました。杉本部長、有難うございました。皆様、これかもどうぞよろしくお願いたします。

浦安市市長

松崎 秀樹

「大震災を経験して」

早いもので空前の東日本大震災から、2回目の夏を迎え、この夏は市内の公園から小さな子ども達の歓声が聞こえるようになりました。

浦安市では、震災当日から応急復旧まで、最も長かった地区で36日間下水道が使えない日が続きました。

この間、こども達、とりわけ乳幼児を

抱えた家庭を、私たち行政は十分サポートし得たのか、こども部と教育委員会それぞれ検証したところ、職員の中には被災しながらも頑張ってくれた報告や、現場からの涙ぐましい報告を受けほつとしたところでした。

私は今、次なる災害を視野に入れ、今回の被災を基に都市災害における障がい者や乳幼児などを抱える災害弱者に対する備えをつぶさに検証すべきだと改めて思っています。

幸い、本市では平成18年度から「あい・ぽーと・ステーション」のご支援の元で、「子育て・家族支援者養成講座」を立ち上げ、現在3級認定者287名、2級認定者89名を数え、子育てケアマネージャーも12名と順調な歩みを見せています。これらの皆さんを被災時にかに有効に動いてもらうか、大きな課題ですが、今改めてそのベースが出来たことに大きな希望を持っています。



千代田区長

石川 雅己

今回で7回目となる認定式を迎えることができ、大変うれしく思っています。今、日本の社会は若者にとつて、とても生き辛い面があると思います。働くことができない、あるいは正規雇用が望めないという傾向にあり、一方で妊娠・出産を契機に育児休業を取得し、職場に復帰したころには、築き上げてきたポジションを失う場合もあるという現状もあります。

このままでは、日本の未来はどうなっていくのでしょうか。我々はこうした現状と向き合い、地方自治体でしっかりと支えてまいります。子育て支援に関しては、マンパワー不足の問題に重点をおき、「子育て・家族支援者養成講座」を設けることで、地域に根付いた人材育成を試みてまいります。養成講座の認定を受けられた方々が地域の中で大いに活躍をしていただくことを期待し、引いては、未来を支える子どもたちが健全に、すくすくと成長できる日本社会を作っていけたらと強く願います。

高浜市長

吉岡 初浩

本市では平成12年度より宅老所等の公共施設を活用した家庭的保育を3ヶ所実施しており、平成24年度には4ヶ所目として保育所実施型の家庭的保育を開設しました。子ども・子育て支援関連3法案には、地域の特性を活かした家庭的保育事業等の市町村が実施するきめ細やかな取組みに対し、「地域型保育給付」として、国が財政支援する制度が盛り込まれています。本市は3歳未満児で発生する待機児童が増加傾向にあり、家庭的保育事業は家庭的な雰囲気子どもを預か

るといふ保育サービスの拡充という側面だけでなく、待機児童対策という側面も強くなっているなか、国からの支援が充実することには当市としても期待をしています。

NPO法人あい・ぽーと・ステーション様には家庭的保育者並びに子育て家族支援者の資質の向上に寄与いただいていることについて御礼申し上げます。今後高浜市に合った子育て支援の実施に努めていきますので、お力添えをお願いいたします。

港区子ども家庭支援部長

北本 治

8月1日付で、港区子ども家庭支援部長を命ぜられました北本です、どうぞよろしく願います。

私は平成20年3月まで、課長として同部に在籍しておりましたが、今回、4年4ヶ月ぶりに戻って参りました。

この間、区として最大の課題と考えている、保育園待機児童については、認可保育園の新設や既存保育園の改築、改修による定員拡大、緊急暫定保育施設の設定など、施設の充実を図ることにより、その数を大きく減らしてきております。また、すべての子育て家庭への支援として、あい・ぽーとにおいて養成された子育て・家族支援者の方を活用した「派遣型一時保育事業」も平成18年度の事業開始以来、利用件数は確実に伸びており、良質な子育て支援サービスとして定着してきています。

今後も、さらなる子育て支援策の充実に向け、日々努力して参りたいと考えております。





あい・ぽーとin丸の内キッズジャンボリー 家族を楽しもう

協力 住友生命保険相互会社
企画・運営 NPO 法人あい・ぽーとステーション&港区

8月16日 東京国際フォーラムで開催された「丸の内キッズジャンボリー」に今年も住友生命保険相互会社のご助成で、あい・ぽーとが参加しました。

☆ プログラム ☆

午前の部 (10:00~12:00)

- 10:10 開場
- 10:25 オープニングコンサート
ピアノ三重奏による演奏
- 10:30 ご挨拶
(住友生命相互会社 / 港区 / NPO 法人あい・ぽーとステーション)
- 10:40 オープニングコンサート
ピアノ三重奏による演奏
- 10:50 音楽絵本「ちいさなあなたへ」
(ピアノ・バイオリン・チェロ生演奏・朗読)
- 11:10 たにぞうさんと歌遊び 一第1部-
たにぞうさんと一緒に遊ぼう! (ギター奏者・ダンサー)
- 11:35 ライブペインティング&リズム遊び&ダンス
○・△・□のリズムで遊びながら画家によるライブペインティング! スタッフと一緒にダンスをしよう~
(12:00 終了)
お昼休み中、「10年後のあなたへ」の手紙づくり

午後の部 (13:30~16:00)

- 13:15 開場
- 13:30 ミニコンサート
ピアノ三重奏による演奏
- 13:40 ライブペインティング&歌
童謡を聴きながらライブペインティング
「10年後のあなたへのタイムカプセルの完成」
- 14:10 育児専門家とたにぞうさん・紺野さんによる
子育てトーク
子どもたちは世界に一つの手作り楽器を作りましょう
- 15:30 たにぞうさんと歌遊び 一第2部-
たにぞうさんと一緒に遊ぼう! (ギター奏者・ダンサー)
- 15:55 フィナーレ
皆さんと一緒に手作り楽器を使って、一緒に歌を歌いましょう!
(16:00 終了)
「10年後のあなたへ」の手紙回収

ご挨拶

このイベントにご助成・協力いただいております住友生命保険相互会社 調査広報部 CSR 推進室長濱本様。
港区子ども支援部長北本治様のご挨拶。
温かい応援のお言葉をありがとうございました。



オープニングコンサート&ミニコンサート

ピアノ三重奏による演奏から午前の部が始まりました。午後の始まりは、小さな世界に合わせて人形劇をしました。
・ピアノ：鈴木 香代子
・バイオリン：御船 あずみ
・チェロ：浦川 うらら



音楽絵本「ちいさなあなたへ」

女の子が生まれ、その子が母となっていくまでを綴った絵本。「私の人生そのものでした」と涙ぐむ方やお子さんとの今とこれからの感慨深く想う方が少なくなかったようです。「10年後のあなたへ」を考える一つのきっかけにさせていただけたことでしょうか。

- 朗読：紺野 美沙子
- ピアノ：鈴木 香代子
- バイオリン：御船 あずみ
- チェロ：浦川 うらら



たにぞうさんと歌遊び

たにぞうさんの登場で、会場が一気に盛り上がりました。お子さんが飛び跳ねたり、立ったり座ったり。大歓声を上げるお子さんとご家族のみんなで楽しんでいただけたひと時でした。



ライブペインティング&リズム遊び&ダンス

○・△・□がリズムで遊んでいるうちに、画家の手で、動物や船に変身していく楽しいひと時でした。スタッフのダンスでは会場のみなさんも一緒に盛り上げて下さいました。

- ・ピアノ：鈴木 香代子
- ・ペインティング：蒲原 元
- ・スタッフ（早坂・野原・北川・福原・石田・古閑・川西）



ライブペインティング&歌

クラシック歌手の素敵な歌声と画家の「ライブペインティング」では、次に絵がどのように展開するのか、想像力を膨らませながら、しっとりとした癒しのひと時をお過ごしいただけたことと思います。

- ・ペインティング：蒲原元
- ・歌：吉岡小鼓音



育児専門家とたにぞうさん・紺野さんによる 子育てトーク

育児専門家を中心に、歌手のたにぞうさん、女優の紺野美沙子さんを迎え、「家族やパートナーとのあり方」や子育てなどについて熱いトークが繰り広げられました。会場からは、子育てを一生懸命にやられているからこそその悩みや質問があり、子どもと関わる大切さを改めて考える機会となりました。

- ・汐見稔幸（本法人理事/白梅学園大学学長）
- ・榊原洋一（本法人理事/お茶の水女子大学教授）
- ・たにぞう・紺野美沙子さん
- ・大日向雅美（本法人代表理事・恵泉女学園大学大学院教授）



フィナーレ

スタッフの挨拶の後、会場内の保育コーナーで作ったマラカスを使い、みなさんと一緒に「さんぽ」を歌って終了しました。ご来場いただきましたみなさま、本当にありがとうございました。



10年後のあなたへ メッセージ

あなたが書いたメッセージが10年後にご指定の所に届く予定です。お楽しみに・・・



【バックアップ研修開講予定】

〈港区〉

九月三日(月)
 ① 十時～十一時
 ② 十一時十五分～十二時十五分
 内容 腰痛や肩こりに効くバレエストレッチ
 講師 佐野明子(佐野明子バレエ教室主催)
 会場 あいぽーと二階多目的ホール

十月二十二日(月)

〈二級対象〉十三時三十分～十五時分
 〈三級対象〉十五時十五分～十六時四十五分
 内容 事例検討会
 講師 大日向雅美 (本法人代表理事
 恵泉女学園大学大学院教授)
 会場 あいぽーと二階多目的ホール

〈千代田区〉

九月十一日(火)十三時三十分～十五時
 内容 国の施策等の情報提供と
 活動状況報告及び課題解決に向けた助言
 講師 大日向雅美
 (本法人代表理事
 恵泉女学園大学大学院教授)

会場 千代田区役所四〇一会議室

十一月二十二日(木)九時～十三時
 内容 普通救命講習
 講師 東京救急協会 救急救命士
 会場 神田消防署

※ 十月は『発達障害』、十一月は『児童虐待』に関する内容を現在計画しております。詳細は、近日中にお知らせいたします。

〈浦安市〉

一般・家庭的保育者

九月二十八日(金)
 十三時十五分～十四時四十五分
 内容 国の施策等の情報提供と
 活動状況報告及び課題解決に向けた助言
 講師 大日向雅美
 (本法人代表理事
 恵泉女学園大学大学院教授)

会場 未定

※ 十月は『発達障害』、十一月は『児童虐待』に関する内容を現在計画しております。詳細は、近日中にお知らせいたします。

児童育成クラブ指導員

十月二十三日(火)十時～十一時三十分
 内容 活動状況及び課題解決に向けた助言
 講師 野中賢治
 (財団法人 児童健全育成推進財団
 企画調査室 室長)
 会場 未定

〈高浜市〉

十月二十六日 十四時四十五分～十六時十五分
 内容 保育記録(予定)
 講師 汐見稔幸
 (白梅学園大学学長・本法人理事)
 会場 高浜市中央公民館

十月三十一日(水)

十三時四十五分～十六時四十五分
 内容 安全の確保とリスクマネジメント
 講師 榎本三千雄
 (株)イーケア・サポート代表取締役)
 会場 高浜市中央公民館
 ※詳細が決まり次第お知らせ致します。

【認定報告】

五月～七月にかけて、各地で子育て・家族支援者養成講座が実施されました。港区では二級講座、千代田区・浦安市では三級講座が行われ、約二カ月間にわたる講座・実習を修了し、総計八十二名の方が新しく子育て・家族支援者として認定・準認定を受けられました。支援者として初めて子育て・家族支援の現場で活動を始められる方、二級にステップアップして派遣型保育の現場へ活躍の場を広げられる方、新しい仲間が増え、子育て・家族支援の輪が各地で広がっています。各自自治体で認定・準認定を受けられた方々の人数は、左記の通りです。
 一これからも、皆様どうぞよろしく願っています。

【港区】子育て・家族支援者養成講座 (二級Ⅹ期)

認定者 一六名 準認定 一名

【千代田区】子育て・家族支援者養成講座 (三級Ⅲ期)

認定者 八名 準認定者 一名

【浦安市】子育て・家族支援者養成講座 (三級Ⅶ期)

一般 認定者 四二名 準認定 四名
 児童 認定者 十名

【子育て・家族支援者養成講座】

九月から、また、新たに子育て・家族支援者養成講座が開講されます。各地の開講概要は、左記の通りです。申込方法、日程の詳細等は、事務局までお気軽にお電話でお問い合わせ下さい。

子育て支援の輪が少しでも広げられるよう、お知り合いの方々に、「関心をお持ちの方がいらつしやいましたら、是非、ご紹介下さい」よろしく願っています。

【港区】子育て・家族支援者養成講座 (三級Ⅹ期)

開講日 二〇二二年十月十二日(金)
 ～十二月二十一日(金)

【千代田区】子育て・家族支援者養成講座 (二級Ⅶ期)

開講日 二〇二二年十月一日(月)
 ～十二月十日(月)

【浦安市】子育て・家族支援者養成講座 (二級Ⅴ期)

開講日 二〇二二年九月二十八日(金)
 ～十二月七日(金)

【高浜市】子育て・家族支援者養成講座 (基礎研修・第Ⅰ期)

開講日 二〇二二年十月十五日(月)
 ～十一月二十七日(火)

